

BAMBOO

四代田辺竹露齋 (GATE)2017年 3m x 3m x 4m 写真・栗田伸
メトロポリタン美術館に寄贈
Japanese Bamboo Art: The Abbey Collection
のために制作されたインスタレーション (部分)

JOY NEW from

Japanese Bamboo Art from New York: The Abbey Collection - Gifts to The Metropolitan Museum of Art



竹工芸名品展 ― ニューヨークのアビー・コレクション ショーメトロポリタン美術館所蔵

2019.12.21 (土) ― 2020.4.12 (日)

主 催 大阪府立東洋陶磁美術館、NHK大阪放送局、NHKプラネット近畿、毎日新聞社
同時開催「特集展」受贈記念 木村盛康・天目のきらめき」「平常展」中国陶磁・韓国陶磁 鼻煙壺

大阪市立東洋陶磁美術館 | The Museum of Oriental Ceramics, Osaka

The ABBEY Collection

Japanese bamboo art is characterized by light, graceful forms composed of elaborate linear patterns. Its remarkably modern feel, giving a new perspective to the viewers, has been enhancing its worldwide recognition. The Diane and Arthur Abbey Collection of Japanese bamboo art is regarded as one of the world's preeminent collections. It was first introduced to the public in 2017, in an exhibition organized by The Metropolitan Museum of Art: "Japanese Bamboo Art: The Abbey Collection". The present version of the same exhibition at the Museum of Oriental Ceramics, Osaka brings together a selection of ceramics from the Museum's collection with 75 modern and contemporary bamboo works from the Abbey Collection, all promised gifts to The Met. In addition to the gallery display, contemporary bamboo artist, TANABE Chikuunsai IV (b.1973), one of the most well-known young artists active in Osaka, will create a large-scale bamboo installation designed for this venue, utilizing the open space above the entrance hall of the Museum. The exhibition, which takes place in one of the traditional bamboo production areas of Japan, highlights dynamic, sculptural works along with exquisite flower baskets, and explores the new possibilities of this field.

The exhibition is adapted from Japanese Bamboo Art: The Abbey Collection organized by The Metropolitan Museum of Art, New York. The Abbey Collection, "Promised Gift of Diane and Arthur Abbey to The Metropolitan Museum of Art." Images © The Metropolitan Museum of Art.

四代田辺竹雲齋(GATE)2017年 写真／浦徳之
メトロポリタン美術館にて制作されたインスタレーションです。本展では、新たに当館の空間に合わせて、インスタレーション作品が制作されます。



竹を素材とした作品は、線で構成された軽やかな造形が魅力であり、現代的な視点で捉えなおされて国際的に高く評価されています。なかでも、ダイアン&アーサー・アビー夫妻が収集した作品は世界屈指のコレクションの一つとして知られ、2017年から翌年にかけてメトロポリタン美術館において開催された「Japanese Bamboo Art: The Abbey Collection」(日本の竹工芸:アビー・コレクション)展で紹介されました。その展覧会を再構成した本展では、アビー・コレクションから近現代の竹の作品75件を、当館の陶磁器コレクションとともに展示します。さらに、大阪の誇る現代作家、四代田辺竹雲齋氏(1973-)によって、美術館の吹き抜けの空間を活かした巨大な竹のインスタレーションが、当館のため特別に制作されます。制作地、そして受容の場として竹の文化が根付いてきた大阪の地において、竹による軽やかな造形表現の魅力、そして工芸という領域の広がり可能性を体感してください。

※本展覧会はニューヨークにてメトロポリタン美術館が主催した「Japanese Bamboo Art: The Abbey Collection」展を日本向けに再構成したものです。



長倉健一 花入女(ひと) 2018年



二代田辺竹雲齋 牡丹花籃(雷費) 1940-1950年頃

①トークイベント「Bamboo Artの現在(仮題)」

講師 モニカ・ピンチク氏
(メトロポリタン美術館アジア美術部学芸員・本展監修者)
×出川哲朗(当館館長)

日時 2019年12月21日(土)
午後2時から午後4時(受付開始1時30分)

定員 70名 事前申込制

場所 大阪市立東洋陶磁美術館 地下講堂

参加費 無料(ただし入館券が必要)

②記念対談「四代田辺竹雲齋のインスタレーション(仮題)」

講師 四代田辺竹雲齋氏(竹芸家)×出川哲朗(当館館長)

日時 2020年2月16日(日)
午後2時から午後4時(受付開始1時30分)

定員 70名 事前申込制

場所 大阪市立東洋陶磁美術館 地下講堂

参加費 無料(ただし入館券が必要)

[お申込み方法とご注意] お申込みメールアドレス(moco_event@moco.or.jp)に参加を希望するイベントの開催日・氏名・電話番号・参加ご希望人数(2名まで)を明記の上お送りください。◎定員に達し次第、締切とさせていただきます。◎お申込み後1週間以内に、参加の可否をお知らせするメールが届かない場合は、お手数ですがお電話にて大阪市立東洋陶磁美術館(06-6223-0055)までお問い合わせください。お申込みの際にご提出いただく個人情報は厳重に管理し、本事業の実施ならびに事務連絡以外には使用いたしません。その他イベントの詳細は決まり次第当館ホームページ(<http://www.moco.or.jp>)にて随時お知らせいたします。

休館日 月曜日(ただし1月13日、2月24日は開館)、12月28日(土)~1月4日(土)、1月14日(火)、2月25日(火)

開館時間 午前9時30分~午後5時
※12月21日(土)・22日(日)は午後7時まで開館 ※入館はいずれも閉館の30分前まで

主催 大阪市立東洋陶磁美術館、NHK大阪放送局、NHKブラネット近畿、毎日新聞社

制作協力 NHKプロモーション

企画協力 Ueki & Associés

協力 日本航空

協賛 imura art gallery、夢工房

入館料 一般1,200円(1,000)、高大生700円(600) ()内は20名以上の団体料金
中学生以下、障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)、大阪市在住の65歳以上の方は無料(証明書等提示)

デザイン: 上田英司(シルシ)



問い合わせ: 大阪市立東洋陶磁美術館
電話06-6223-0055
ウェブサイト<http://www.moco.or.jp>
Instagram: @moco_press

大阪市北区中之島1-1-26(大阪市中央公会堂東側)
京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ
Osaka Metro御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」
Osaka Metro堺筋線・京阪本線「北浜」各駅から約400m

大阪市立東洋陶磁美術館

本田聖流 舞 2000年



門田聖玉 維新 1981年



田辺陽太 子供たちにささげる土 1975年



本間秀昭 流紋 2014年

